

株式会社アールプランナー

機関投資家・アナリスト向け2022年1月期第1四半期決算説明会 質疑応答要旨

【日 時】2021年6月18日（金）13：30～14：10 実施

【当社出席者】代表取締役社長 梢 政樹

質問1	2022年1月期で過去最高を見込んでいるのは、売上高と営業利益のどちらでしょうか。また、過去最高を見込んでいる理由はどのようにお考えでしょうか。
回答1	売上高・営業利益ともに過去最高を見込んでいます。経常利益は、2019年1月期より若干低い計画ですが、過去最高を目指していきたいと考えています。また、過去最高を見込んでいる理由として、コロナ禍であっても戸建住宅の需要が拡大しており、販売棟数が順調に伸びていること、さらに2020年1月期と2021年1月期は主に首都圏進出のための先行投資期間と位置付けた結果、販管費が売上高に対して大きくなっていましたが、2022年1月期はその先行投資の回収が始まる期と位置付けているためです。

質問2	デザイン性と価格の優位性を活かすことにより、東海エリア及び首都圏それぞれでいつまでにどこまでシェアを拡大する予定でしょうか。
回答2	東海エリアでは、5%のシェア獲得を目指していきたいと考えています。また進出して間もない首都圏では、3%のシェア獲得を目指していきたいと考えています。

質問3	長い間期待されている住宅業界の再編が起こらないままで来ていますが、何がきっかけで再編が進むのでしょうか。
回答3	コロナショックやウッドショックがきっかけになるのではないかと考えています。また、住宅業界は高齢の経営者が比較的多い業界であり、後継者不在で世代交代が進んでいないと言われていいますので、こうした会社の淘汰と再編が進むのではないかと考えています。

質問4	M&Aを積極的に行うことで、売上規模を他社にないスピードで成長できるのでしょうか。またその場合、他社の商品ではなく営業基盤が狙いとなるのでしょうか。
回答4	当社の成長に寄与する分野へのM&Aについては、検討していきたいと考えています。また、M&Aの狙いは営業基盤の獲得以外にも、例えば戸建住宅の施工能力の強化も選択肢の一つになると考えています。

質問5	上場前に積極的な先行投資を行ったということですが、2023年1月期以降は大きな先行投資もなく、30%程度の利益成長が続くと考えてもよいでしょうか。
回答5	先行投資は引き続き行っていく方針です。また、利益については具体的な数値を設けていませんが、なるべく高い成長を目指していきたいと考えています。

質問6	株主還元について、配当実施時期の目安及び目標等は設定されているのでしょうか。
回答6	現時点では先行投資期間と考えていますので、配当実施時期は未定です。将来的には配当性向10%台からスタートし、最終的には30%程度を目指していきたいと考えています。

質問 7	デジタルマーケティング戦略の具体的な手法を教えてください。また、広告の投下量以上の効果を得る方法がありますか。
回答 7	当社へ非常に興味を持った顧客との接点を持つことができるため、自社WebサイトやInstagramを始めとしたSNSを活用したWeb集客を中心に行っています。 また、自社WebサイトやSNSの活用はリスティング広告に比べて当社への関心が高い顧客へ到達することができるため、費用対効果が高いと考えています。

以 上